

2019年8月23日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

オリンピック、よしもと、ゆるスポーツを活用して、地域スポーツの振興を考える 「チャレンジデーフォーラム 2019 外部資源の活用で広がる地域スポーツ」 8月23日（金）に開催しました。

笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区 理事長：渡邊一利 以下：SSF）は、2019年8月23日（金）に、「チャレンジデーフォーラム 2019 外部資源の活用で広がる地域スポーツ」をリーガロイヤルホテル京都（京都市）にて開催しました。

第1部は、チャレンジデー2019の報告に加え、よしもとやゆるスポーツを活用したスポーツ振興の事例発表や、ワールドマスターズゲームズ2021関西の現状報告、長崎宏子氏（水泳競技オリンピック）や大橋一夫氏（福知山市長）などを招いてのパネルディスカッションが行われ、充実した内容となりました。

第2部では、「チャレンジデー2019」参加自治体へのメダル認定証授与式とともに情報交換会が行われ、和やかな雰囲気の中、活発なやり取りが交わされました。チャレンジデーに向けて各自自治体で作成されたチラシのうち最も優れたものを参加者の皆さまで選ぶ「チャレンジデー2019 チラシ総選挙」も開催され、チャレンジデー2019 チラシ大賞は、大槌町（岩手県）に決定いたしました。

長崎 宏子氏（水泳競技オリンピック）コメント

オリンピック出場時に、とても多くの皆様から応援をいただいた。今、チャレンジデーには、その恩返しのため、大使として自治体の皆様と活動させていただいている。

20年以上ベビースイミングに携わっているが、子どもたちが笑顔になれるように、たくさん声をかけ、触れ合い、指導者や関係者と勉強し培ってきた。これからも、子どもたちだけでなく、高齢者の方にも、少しでも健康寿命を延ばして生き生きとした人生を送っていただけるようスポーツの楽しさを伝えていきたい。

大橋 一夫氏（福知山市長）コメント

チャレンジデーは生涯スポーツの底上げ、日常の運動・スポーツの習慣化につながる。オリンピックやトップアスリートが参加してくだされば、市民のやる気にもつながっていく。

<日時> 2019年8月23日（金）15:00～19:30

<会場> リーガロイヤルホテル京都（京都市下京区）

<主な登壇者> 長崎 宏子氏（オリンピック、SSF評議員、チャレンジデー大使）

大橋 一夫氏（福知山市長）

中塚 則男氏（ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会 事務局長）

菅原 啓子氏（三次市 地域振興部観光スポーツ交流課 課長） ほか

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団 広報担当：竹下、清水
TEL：03-6229-5300 info@ssf.or.jp

※8/23-25は、090-1607-8781 までご連絡ください。

画像データが必要な際は、こちらまでご連絡ください。 info@ssf.or.jp

